

ここにサブタイトルを入力

スライドテンプレート

Marp + Custom Style

2025/MM/DD

発表者名

2カラムレイアウトのサンプル

左側のコンテンツ

- 箇条書きの項目1
- 箇条書きの項目2
- 箇条書きの項目3
- 箇条書きの項目4

左側にテキスト、右側に画像を配置する基本的なレイアウトです。



画像のキャプション

強調ボックスの使い方

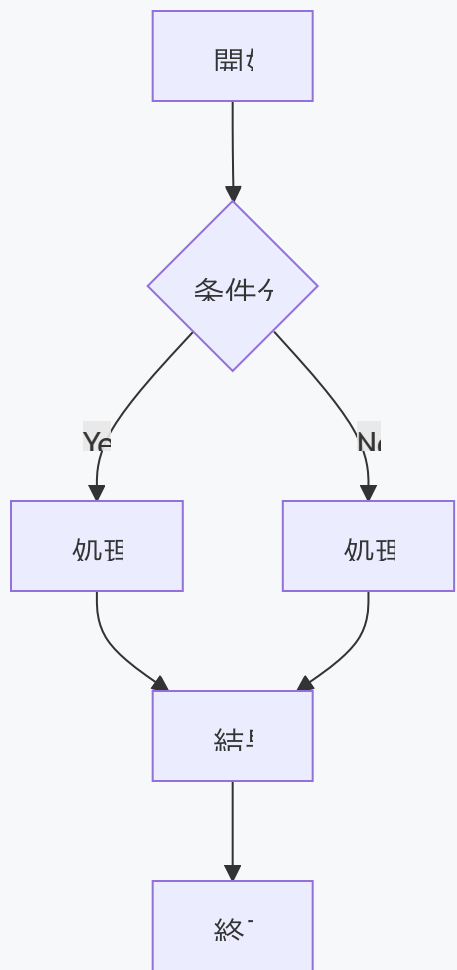
重要なメッセージをここに記載

強調したい内容や注意事項などを目立たせるために使用します。

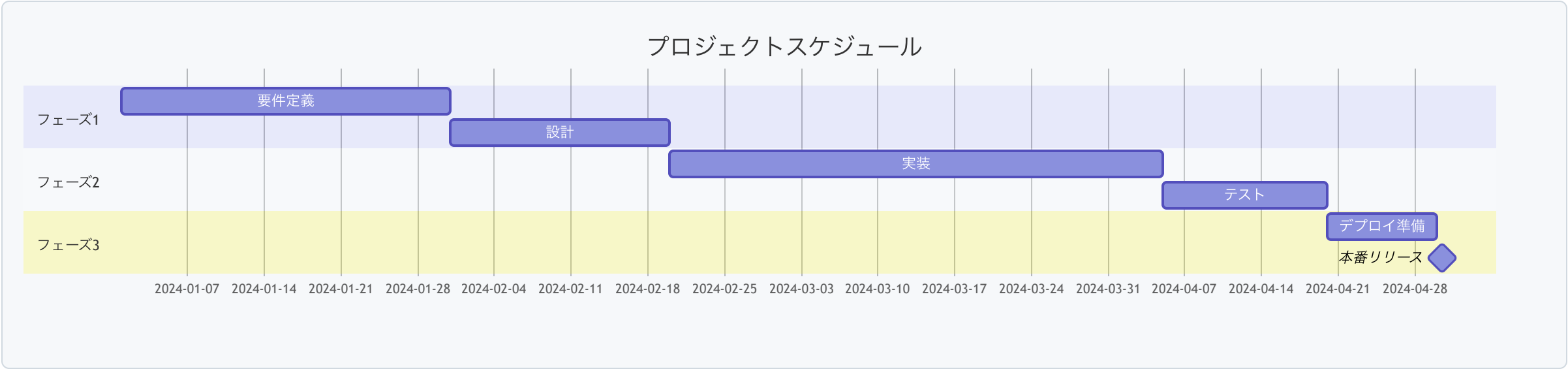
通常のコンテンツ

- 強調ボックスの下に通常のコンテンツを配置
- 箇条書きやテキストなど自由に記述可能
- 重要度に応じて使い分けることが大切

Mermaidフローチャート



Mermaidガントチャート



箇条書きリストのパターン

基本的な箇条書き

- 第1階層の項目
 - 第2階層の項目A
 - 第2階層の項目B
 - 第3階層の項目
- 第1階層の別の項目

番号付きリスト

1. 最初のステップ
2. 次のステップ
 - i. サブステップ2-1
 - ii. サブステップ2-2
3. 最後のステップ

チェックリスト

- [x] 完了したタスク
- [] 未完了のタスク
- [] 進行中のタスク

画像配置のパターン

中央配置



横並び配置



テキストと画像の回り込み

ここにテキストを配置します。画像は右側に配置され、テキストが左側に回り込みます。この配置方法は、説明文と関連する画像を同時に表示したい場合に便利です。長めのテキストを配置することで、回り込みの効果がより明確に確認できます。画像の横にテキストが流れ込むレイアウトは、限られたスペースを効率的に使用できる利点があります。



コード表示のパターン

インラインコード

プロジェクトで `npm install` を実行して、依存関係をインストールします。

コードブロック (Python)

```
def calculate_sum(numbers):  
    """リストの合計を計算する関数"""  
    total = 0  
    for num in numbers:  
        total += num  
    return total  
  
# 使用例  
result = calculate_sum([1, 2, 3, 4, 5])  
print(f"合計: {result}")
```

コードブロック (JavaScript)

```
const fetchData = async (url) => {  
    try {  
        const response = await fetch(url);  
        const data = await response.json();  
        return data;  
    } catch (error) {  
        console.error('Error:', error);  
    }  
};
```


テーブル（表）のパターン

基本的なテーブル

項目	説明	ステータス
タスクA	要件定義の作成	完了
タスクB	デザイン作成	進行中
タスクC	実装	未着手

中央揃え・右揃えを含むテーブル

左揃え	中央揃え	右揃え
データ1	データ2	100
データ3	データ4	200
データ5	データ6	300

スタイル付きテーブル

機能	Free	Pro	Enterprise
基本機能	✓	✓	✓
高度な分析	✗	✓	✓
API アクセス	✗	制限付き	無制限
サポート	コミュニティ	メール	24/7

ポイント項目のパターン

番号付きポイント項目

1 最初のポイント

ここに詳細な説明を記載します。

2 2番目のポイント

重要な内容を簡潔に説明します。

3 3番目のポイント

番号付きで順序立てて説明する場合に便利です。

通常のテキストと組み合わせて

ポイント項目は重要な内容を順序立てて説明する際に効果的です

